2019 年度 11 月 30 日　自治会防災訓練実施報告

2019 年 12 月 3 日　防災部

1. 防災訓練の内容と訓練要領

●今回の訓練では、自治会員、防災部員、防災スタッフ、救急班が参加し、
大きく下記の 2 点について訓練を行いました。

(1)地震発生直後の初期行動

①自治会員の各世帯（個人、家族）の初期行動

②各ブロックの防災部員の初期行動

③各ブロックの自治会員と防災部員の連携行動

④防災スタッフ、救急班の初期行動

(2)人命救助時に使用する防災備品の実演と使用体験

①ジャッキ、かなてこ、ロープワークの使い方の実演

②防災部員による上記人命救助用防災備品の使用体験

●訓練は下記の各要領に基づき実施しました。

（資料は各世帯また防災部員に配布しました）

◆「自治会員用　防災訓練要領」　　**◆「防災部員用　防災訓練要領」**

◆「油圧ジャッキ、金てこ、ロープワークの操作方法」

◆「小糸南自治会　防災訓練の流れ　全体図」

2. 防災訓練　参加状況集計報告

参加状況は添付資料**「参加状況集計報告」**の通りで、自治会の約９割の世帯の方が一時避難場所への避難、また自宅待機の形で訓練に参加されました。

今回の訓練で自治会員、防災部員、防災スタッフ、救急班の地震発生時の初期行動の理解と実際の行動の体験が得られ、防災意識の向上を図ることができました。

①一時避難場所に集まった世帯は、全世帯 255 世帯中 149 世帯の参加率 58%であり、約６割の世帯が参加した。

②一時避難参加世帯に加え一時避難不参加世帯で「安否確認」ができた世帯を含む全体の「安否確認世帯数率」は 87%とほぼ９割近い世帯に訓練を適用できた。

③防災部員も 53 名中 47 名の参加の参加率８９％でほぼ９割と高かった。

④ジャッキ、金てこ、ロープワークの操作訓練は、見学だけで実操作に参加されない方もいたが、救助に係る防災備品、操作方法について概ね認識された。